



第2730地区 鹿児島サザンウインドロータリークラブ

事務局・例会場 鹿児島東急イン
〒890-0053 鹿児島市中央町5-1-9 F
TEL 090-5295-2736
FAX 099-251-5290
例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
Eメール kswrc@po5.synapse.ne.jp

2014~2015年度
会 長 国師 博久
会長エレクト 佐藤 俊一
幹 事 夏迫 文男
編 集 会報・広報委員会
H.P. <http://www.ri2730.org/southern/>

第818回例会 2014年(平成26年)10月9日(木) 本日のプログラム「会員卓話 藤崎克己君・田中応征君」 Vol. 19-13

前回第817回例会(10/2(木))の報告 於:東急イン

【会長アドレス】会長 国師博久

本日はまず、野元会員の御尊父様が、ご逝去されました事に謹んでお悔やみ申し上げます。

10月は職業奉仕・米山月間で、本日のプログラムは両委員会が担当です。各委員会の皆様宜しくお願い致します。今日は職業奉仕についてお話をさせていただきます。

2012年ロータリーの友10月号で、田中作次元RI会長は、「職業奉仕という考え方は、私にとって全く新しいものでした。それまでは、人生の目的や仕事をする理由についてあまり考えたことはありませんでした。何より仕事が忙しかったのです。常に会社のこと、そしてそれを大きく、素晴らしい会社にすることばかり考え、あらためて仕事の真の目的を考えたことがありませんでした。職業奉仕という考え方を理解してから、自分の仕事や人生の目的に対する態度が完全に変わりました。仕事をする目的とは、ただお金を稼ぐだけでなく、いかに地域社会に貢献し、地域社会や人々の生活をより良くできるかにあると気付いたのです。これを理解した時、「超我の奉仕」の考え方が理解できました。それから私の人生は変わり、ロータリーでの奉仕に積極的に参加するようになりました。」と書かれています。また「ロータリーに入って最初に感動したのは職業奉仕です。儲かること、財産をつくること、楽に暮らしていけるようになること、そんな次元の低いことしか考えていませんでした。それが違ってました。お金があろうがなかろうが職業というのは大事。職業はみんなのために役立つこと、というように、考え方が変わってきました」と言われているように、職業奉仕の考え方とは、職業というのはその中でみんなのために役立っているということであり、職業を通じて何か奉仕をするという意味ではないようです。職業奉仕で有名なのが、シェルドンです。彼は、ロータリーにサーヴィスの概念(人の為になること)を持ち込んだ人です。

又職業奉仕のこういう考え方は、ロータリーだけではなくてホンダの本田宗一郎さん、松下電器の松下幸之助さん、出光石油の出光佐三さんも同じであると言われています。職業を、利益だけではなく、広い視野のもと、色んな角度から考えていくことがみんなのためになるのではないのでしょうか。

最後に、大迫バスターガバナーは、「ロータリーの価値観の上に立ち職業奉仕こそロータリーであることを確認し、ロータリーを実践し、みんなの豊かな人生に寄与すること、社会の為に役に立つこと、合わせて自分自身の心身の豊かな人生を求めたい」と言われています。

自分も、こういう境地になりたいものだと思います。

【会務報告】幹事 夏迫文男

- ①ロータリーの友、ガバナー月信、又、当クラブの会員名簿が出来上がりましたので配布します。
- ②鹿児島市内RC会長・幹事会が、10/14(火) 18:30~サンデイズインにて行われます。

【ニコニコBOX】

◆国師博久君 今日職業奉仕委員会、米山記念奨学会委員会の担当例会です。委員会の皆様、宜しくお願いします。

◆川原篤雄君 10人中5番目の孫が南日本ジュニア美術展において特選に入りましたので、スマイルします。

◆日高恒彦君 やっと秋らしくなりました。私も70才になりましたが元気です。今後もよろしく。

◆藤崎克己君 本日は「ロータリーの友の紹介」を中村さんがされますので、拝聴ください。又会員名簿の印刷をさせて頂き、感謝のニコニコです。

◆市川孝栄君 川原さん、本日は本社社屋ビルの上棟、おめでとうございます。

◆吉田美佐子君 本日、FMぎんがの番組に出演いたします。赤尾かおりさんの番組です。よろしかったら皆様お聞きください。

《ニコニコBOX累計額 ¥109,000-》

【ロータリー財団寄付目標達成者】 10/2

日高恒彦君・松下和裕君・本木順也君・森妙子君

【米山記念奨学会寄付】 10/2

松下和裕君・川原篤雄君・田中一久君・赤塚晴彦君

【プログラム】クラブフォーラム（米山・職業奉仕）

◎米山記念奨学会委員会：松下委員長

(1) ロータリー米山記念奨学会とは？
東京RCで1953年に発足。クラブ初代会長 米山梅吉の功績を記念して命名。民間で日本最大の奨学団体であり、日本のロータリーのための活動である。



(2) 寄付の種類

普通寄付—クラブ予算から1会員当たりの金額を任意に決定し在籍会員数分を寄付。表彰対象外であり個人の累計にならないが0となってはならない。

特別寄付—任意の寄付で、個人・法人・クラブから受け付ける。創立記念（4月）やガバナー公式訪問記念などの名前を付けることができる。

(3) 表彰

（個人）準米山功労者—個人の特別寄付の累計が3万円に達した人。現会員に11名いる。

米山功労者—個人の特別寄付の累計が10万円毎（～90万まで）6回—池田会員、2回—福石・右田会員

1回—川原・西・永田・高良会員

（クラブ）功労クラブ—クラブの特別寄付の累計が100万円毎に表彰。個人・法人も集計される。本クラブは3回表彰されている。

(4) 今年度目標額

地区要請額の1会員平均12,000円（普通寄付と特別寄付の合計）が本クラブの目標。7/1在籍会員数は46名であり、目標額は552,000円です。宜しくお願いします。

(5) 米山記念奨学生

2014年4月～2015年3月の本クラブ担当の米山奨学生は范姜閔韻君（台湾）であり、カウンセラーは西会員である。

◎職業奉仕委員会：川原委員長

「職業奉仕月間に因んで」

職業奉仕＝職業分類（天職？）

RCの特徴は、職業を通じて社会に奉仕することであるが、難しいことはさておき、社員、得意先、お客様、仕入先あるいは隣近所の方々から信頼される良い会社だと思ってもらえる企業、専門職業であることが大切なことであると思う。言い換えれば職業奉仕は職業に取組む「経営態度」であり、「精神の姿勢」である。職業奉仕の追求と実践はロータリアンの企業を繁栄させ、そのことがロータリーの価値を高めていくことになる。ロータリー思考の中核は職業奉仕の理念である。アーサーフレデリック・シェルドン（1868～1935）『1932年シカゴRC会員・1954～55RI会長』は、職業奉仕とは事業を科学と捉えて、一定の法則に従って企業を運営していくことであり、そのようにすれば必ず事業は発展すると説いている。

別紙資料を参照下さい。



第111回ロータリー大学 報告

日時：9月26日（金）19:00～

場所：ジェイドガーデンパレス 出席数：23名

17:30～吉田美佐子会員のオリエンテーション

19:00～「ロータリーの心を学ぶ—友情・寛容」に則り、ポール・ハリスの生い立ち、どうしてロータリーをつくることになったのか、その後ロータリーはどう変わってきたのか、ロータリーの活動のベースは友情があつてできること、その友情を培うためには、寛容の精神が必須であることについて話題としました。

その後、吉田会員の歓迎会を親睦委員会で行っていただきました。（報告：庄司会員研修委員長）



次回（第819回）例会のお知らせ

期 日：H26年10月16日（木）

場 所：12:00～訪問 鹿児島七ツ島ソーラー科学館

13:00～例会・食事 シーサイド平川masaru

プログラム：職場訪問例会

出席報告

例会日	会員数	出席数	出席率%
第817回10月2日（木）	50	34	68.00
第815回9月18日（木）訂正	50	46	92.00

市内他RC例会プログラム

★は、記帳受付有り（ホムラブ 例会場）

鹿児島RC 10/10（金）定例夜間例会 ゲスト卓話（山形屋）

中央RC 10/13（月）祝日休会（山形屋）

東南RC 10/14（火）米山奨学生卓話（サンイナル）

城西RC ★10/14（火）職場訪問例会

自衛隊鹿児島地方協力本部（東急イ）

南RC ★10/15（水）職場訪問 南日本新聞社（サンイナル）

西RC ★10/15（水）クラブ定款休会（山形屋）

西南RC 10/15（水）クラブフォーラム（職業奉仕）（ゆうづき）

東RC 10/16（木）クラブフォーラム（CLPについて）（山形屋）

北RC 10/16（木）クラブ定款休会（レゾラントホテル）